

弓道部女子、全国選抜を初制覇!

経スポ

第26回全国大学弓道選抜大会

弓道全国優勝



6月28日・29日に明治神宮武道場至誠館弓道場にて第26回全国大学弓道選抜大会が開催され、弓道部(女子)が全国優勝を果たした。本学弓道部史上初の日本一だ。

本大会には、5月の四十射会で優勝した須藤翔子さん(人間2年)、昨年の全日本学生弓道選手権大会で女子個人準優勝の川勝彩音さん(人間2年)、主将の芝川菜菜さん(経営4年)、信岡美穂さん(経営2年)のチームで出場した。信岡さんは今回控えに回ったが、3位の結果を残した前回大会でレギュラー出場の経験を持つ。「レギュラーが安心して射を引けるよう準備していた」と語るとおり、彼女らの存在が一番近くで全国優勝を支えたことは間違いない。

初日の予選では、全国から選抜された46校が、12射的中数を競い、本学は11中とトップの成績で決勝トーナメントへの出場を決めた。大会2日目の決勝トーナメント1回戦は8対5で関西大学に勝利。2回戦は

本学と並び予選トップ通過の國學院大学を相手に、10対7で勝利し準決勝へ。準決勝は帝京大学に9対6で勝利し決勝進出。

決勝戦の相手は本学と同じく関西学生連盟1部リーグに所属する立命館大学。準決勝で4射2中だった須藤さんは、「準決勝ではやぶの気が前に出てしまったが、佐藤監督の『耐え抜いた人があたり、勝ちにつながる』という言葉を思い起こし、攻める気持ちを高めて決勝に臨んだ」と語るとおり、4射3中と復調した。一方、川勝さんは決勝戦で苦しんでいた。2本目と3本目「力が抜けず硬くなっていた」という。1集中迎えた最後の1本「集中し、やるしかない中さっさと切った」と見事的中させた。他大学の選手も大舞台のプレッシャーに苦しむ中、芝さんは主将としての威厳をみせていた。決勝トーナメント1回戦以外、予選から皆中を記録し、決勝戦でも皆中させた。念願の弓道場が完成した直後の大会で、



周囲の期待が大きいく「主将としてプレッシャーはあった」というが、「大会前に部員やOG等から応援のメッセージをもらい力になった」そうだ。

全員の力が合わさり、9対6で立命館大学を下し、全国優勝決定!関係者にも大きな感動を与えた。初の全国優勝を果たした弓道部が次に狙うのは、8月にある全日本学生弓道選手権大会での優勝だ。弓道場が完成し、ホームができた弓道部の勢いは止まることなどないだろう。

発刊:大阪経済大学
スポーツ文化振興室



今大会の結果が出せたのも、日頃から弓道部を支えて下さる多くの方々の声援があったからこそ勝ち取ることが出来ました。今年は念願の弓道場を建てて頂きこの感謝の思いを結果として表せた事が非常に嬉しく思います。しかしこの結果に満足せず次の大会に向けて一から取り組んでいきますのでこれからも応援宜しくお願いします。

芝主将

今大会の学生の頑張りに感動致しました。これからインカレと秋のリーグ戦に向けて一から部員全員で進んで参りますのでこれからも応援宜しくお願いします。

佐藤監督

弓道部
VOICE